# 印鑑登録・証明はご本人が

## 住民課からのお願い

## 代理人は必ず委任状を

20円収入印紙貼　割印

委任状

昭和　年　月　日

向日町長　中山　仙三殿

委任する者　住所　向日町大字寺戸小字大牧１番地の15

氏名　甲野　太郎　　登録の印

生年月日　昭和２年３月４日

私は（こられない理由）＿＿＿＿のため、みずから申請することができないため、下記の者を私の代理人と定め、印鑑登録証明書＿＿枚（はっきり書いてください）受領に関する一切の行為を委任します。

委任された者　住所　向日町大字寺戸小字大牧１番地の15

氏名　甲野　花子　㊞

生年月日　昭和５年６月７日

最近の社会経済の発展は、印鑑登録証明書の利用度を高くしていますが、町の窓口でも、一日百枚ほど発行しています。それに比例して、印鑑にまつわる事件も全国的に年を追って増えているのが現状です。

ご存じのように、印鑑登録の実印（登録印）は非常にたいせつなものです。その取扱い方をひとつ誤れば、人の一生を左右するようなたいへんな事態が発生します。

役場の窓口でも、印鑑の登録や証明書の発行には細心の注意をしていますが、みなさんも登録や証明書の交付申請をされるときは、必ず本人みずから直接役場に来られ、手続きをしてください。

また、印鑑の取扱いには十分に注意し、たいせつに保管するようにしてください。

◎印鑑登録届は

(1)町に住民登録をしていないと登録できません。

(2)必ず本人みずから来られて届出てください。やむを得ない理由があるときは、代理人でも手続きができます。

(3)登録届があれば本人あてに登録に関する照会書を後日持参し、本人の意思で登録したという回答を得て、正式に登録をします。

◎印鑑登録証明書交付申請は

(1)登録印を持って、必ず本人みずから来てください。やむを得ない理由で来られないときは、本人自書の委任状（○を参照）を代理人に持たせ申請してください。

(2)手数料は一枚につき五十円

(3)証明書の有効期間は

登記に使用するとき…三カ月

公正証書を作るとき…六カ月

(4)印鑑心得五か条

1、印鑑は人に預けない。

2、白紙委任は慎重に。

3、捨印はむやみに押さないで。

4、押印する書類はよく読んで

5、紛失した印鑑が出てきたら使用しない。

# 石田都市下水路が完成

## 総事業費五千五百万円で

（完成した石田都市下水路）

「町づくり」の一環として、昭和三十七年度から継続事業で施工してきた石田都市下水路改修工事が、昭和四十五年度をもって、計画どおりしゅん工しました。

石田都市下水路の整備区間は、寺戸事務所前から森本地区西部および鶏冠井地区東部の国道に至り、おもに新興住宅地域を貫流し、寺戸川ノ下地域の支流六〇三メートルを含み、総延長は三、一三七メートル、幅員三・七六～一・四五メートル、深さ一・一五メートルの施設で、排水区域は約一五三ヘクタールに及んでいます。

この事業に投資した総事業費は五千五百三十五万円です。これで日常の生活環境の整備事業の一つが完成したわけです。

なお、この排水施設の昭和四十五年度事業費の一部は、郵政省の簡易生命保険から融資を受けています。

## カメラニュース

### 「街路樹を害虫から守る」

### 害虫駆除を実施

街路樹を害虫から守るための薬品散布による害虫駆除が実施されました。

実施されたところは、向日区、西向日区、向日神社参道、児童公園など、緑の木々が多くあるところです。

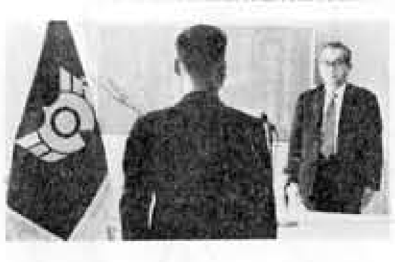
害虫といってもおもに毛虫ですが、ちょうど繁殖期にあたり、歩行者に迷惑をかけるため、害虫駆除を実施したものです。

この害虫駆除散布は、毎年実施されています。

＝写真＝西向日にて

### 開校式開かる

### ＝第三小学校＝



さる四月七日午前九時から、第三向陽小学校（森本小字下森本）で開校式が開かれました。

第三小学校は、増加する児童対策として、建設が急がれていたもので、鉄筋コンクリート造り三階建てです。

開校式には、中山町長はじめ、来賓者や児童の父兄ら含め多数の人たちが列席して行なわれました。

席上中山町長は「躍進する町に第三の初等教育の場が完成し、今後よき学校として人間形成をつちかい、伝統ある校風を育ててほしい」とあいさつがあり、引き続いて、来賓の祝辞があり、式を終えました。

＝写真＝開校式のもよう



# 暮らしの環境を整備

## 衛生事業に一億五千万円

住民の保健予防を強化し、健康管理を充実して、健康を高めるとともに、暮らしの周辺の環境を整えるために、衛生事業として一億五千四十五万円を計上しました。

保健予防面では、日本脳炎、インフルエンザなどの予防接種の徹底を、また、昨年度に引き続き、若年者および高年齢者は無料とするとともに、予防接種には予診制による問診を実施します。そのほか、成人病対策にも力を注ぎ、予防費千二十四万円を計上しました。

また、母と子の健康管理のための乳幼児相談、母親教室の開講をはじめ、保健婦の訪問指導を充実するとともに、家族計画の指導を強化しました。さらに、血液型検査を実施し、献血運動の推進を引き続き行ないます。

つぎに、環境衛生面では、清潔な町づくり対策として、消毒パトロールの強化、モデル地区組織の育成、河川の美化を推し進め、明るい美しい町づくりのため、百九十九万円を計上しました。

公害対策では、ばい煙、悪臭など各種公害の排除に努めていますが、国の公害関係法規の整備に伴い、組織の確立により、積極的に公害と取り組み、公害調査委託などの経費を計上しました。

一方、清掃面では、ごみ、し尿の処理事業は、定期の収集と衛生的処理を計画的に進めるため、一億千八百十六万円を計上しました。

ごみについては、人口の増加に加え、消費経済の拡大にともなう量の増大が著しく、ごみ収集機械車（二トン）百八十万円を一台購入し、増車によりごみ収集の円滑化を進めていきます。

なお、乙訓環境衛生組合のし尿の終末処理施設については、都市人口の増加などにより限界に達しますので、今年度から二カ年継続事業で施設の増設がはかられますが、その今年度工事費として四千八百万円、また大型焼却物処理施設が今年度事業として八百八十万円をもって建設されることになっています。

その今年度組合負担金として、四千万円を計上しました。

# 都市化に対処

## 道路整備をさらに充実

住民の日日の暮らしに密着したいわゆる生活環境の整備を中心に道路、河川、公園などの施設を充実するとともに、都市化に対応する都市基盤の整備をはかるため、土木費一億千百九十六万円を計上しました。

道路整備は、道路舗装に千七百三十万円、私道舗装補助に百五十万円、道路改修に百五十五万円、道路の維持補修に四百七十三万円を計上し、環境の整備を進めていきます。

また、交通安全対策としては、ガードレール、標識、カーブミラーの設置や街路灯の増設などに百四十九万円を計上し、交通安全運動の推進を期することとしました。

（道路舗装を推し進める）

一方、河川、排水路の整備では昨年度からの継続分として、市町村営河川や深田川の改修などに九百九十四万円を計上し、汚水、排水の流れをよくして、環境の向上を進めていきます。

浸水防除事業では、府営洛西たん水防除事業の完成を進めるとともに、石田都市下水路改修の完了（昭和四十五年度）に引き続いて新らしく洛西排水路の改修を、寺戸都市下水路改修工事として、今年度から計画的に実施していきます。その初年度分として、国道一七一号線以西延長四五〇メートルの改修工事費二千三百九十二万円を計上しました。

そのほか、都市計画街路１等Ⅲ類四ノ八号線（外環状線）の事業費の一部町負担分六百万円、向日神社公園用地の買収費千五百万円を計上しました。

# 特別会計

## 国民健康保険事業

今年度予算額と前年度の当初予算額とを比較すると、財政規模において二〇・八パーセントの上昇となっています。これは国保財政の九一・一パーセントを占める医療費において、受診率の上昇などを考え、昨年度の一人当りの医療費の一五パーセント増を見込んでおり、また葬祭費、育児手当などの給付改善を行なうことによるわけです。

国民健康保険事業では、一応今会計年度で運営できる見通しに立っていますが、単年度収支としては相当の赤字が見込まれ、先ゆき楽観を許さない状態にあります。

したがって、国の医療保険制度の抜本的改正としてとりあげられている健康保険料などの具体的改善試案が、住民の健康を守るものとして、改善されるよういたしたいものです。

## 上水道事業

急速な人口の増加にともない、水需要も年とともに加速度的に増大し、これに対応するためあいつぐ拡張事業に取組んできました。

昭和四十三年度から五カ年継続事業として第七次拡張事業を実施していますが、昨年度までに浄水場および配水池を完成し、今年度では、配水本管を環状線的に布設して、夏季の水圧低下を解消する計画で、拡張事業費一億六千八百三十九万円を計上し実施します。

収益的収支では、昭和四十三年度からの第七次拡張事業の企業債に対する利息が増大し、企業債利息四千四十六万円になり、また浄水場などの完成により、これの減価償却費三千二百三十五万円に増加し、純損失二千三百四十一万円が見込まれます。

×　×　×

## 農業　商工業

## 振興に助成

商工業をめぐる経済的、社会的環境は、不況感の影響により、けわしい様相を見せつつあり、また農業においても、米の生産調整を中心として脱皮が求められるなど都市近郊農業の転機が迫られています。

商工業では、社会環境の変化に応じて、組織を通じて環境の整備を行なうとともに、経営の近代化や体質の改善についての指導を関係機関と連けいを保ちながら実施します。また、景気の動向、市中金融の状況などを見守り、金融対策の強化をはかり、信用保証協会に対し、出えん金、貸付金の増額についても、企業の資金需要にこたえられるよう配慮を講じます。

つぎに農業では、都市近郊の特殊性をいかし、生鮮農産物の供給源として、農産物の高品質産地による特産地の形成、施設園芸の普及や栽培技術の研究などにより生産性を高めるとともに、流通機構の改善により、農家経営の安定と所得の向上をはかるための方途を講じていきます。

また、基礎的整備をはかるための土地改良事業では、農業用水路改修に六百五十万円、農道改修に四百万円を計上し、農用地としての生産基盤の整備を行ないます。

府営洛西たん水防除事業では、昭和四十二年度からの継続事業として実施されていますが、その今年度事業費九千五百三十五万円に対する町負担分約五・三八パーセント、五百五万円を計上し、工事の完了をはかり、町内低湿地帯の内水排除を行ないます。

**消防相談、火事・救急のお問い合わせは**

**（九三）八〇〇〇番へ**

**向日町消防本部**